

# ひら 展 け 充 ち 満 つ

静岡大学教育学部附属静岡中学校  
学校だより  
令和2年度7月号

## 学校再開後を振り返って

学校長 坂口 京子

学校再開後、新型コロナウイルス感染症への対策として、日々の健康観察やマスク着用等をお願いしてまいりました。生徒の皆さん、保護者の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。先日（7月7日）の静岡大学への爆破予告に関しましては、当日の日課変更またご連絡となり、大変なご心配ご迷惑をおかけしました。三者面談の日程調整を改めてお願いしたご家庭には、重ねてお手数もおかけしました。心よりのお詫びを申し上げるとともに、保護者の皆様のご理解ご協力に改めて感謝申し上げます。

ここまでの学校生活を振り返ってみますと、大きく二つの向上があったと感じております。一つは、日常生活の質の向上です。時間を守る、適切な挨拶ができる、清掃活動を丁寧に行うといった点を誠実に積み重ねられる附中生が増えてきました。そしてもう一つは、伝えることの質の向上です。対話の場面が限られる中、紙面に書く、オンラインを通して生き生きと伝える等が工夫されています。自分が伝えたいこと・伝えるべきことをどうしたら相手に分かってもらえるか、媒体の特徴を活かしながら考える姿勢が育ってきています。それを支える傾聴の姿勢、受容の姿勢が全体に定着しつつあることも大きいと思います。以上を自信とし、夏休み後のさらなる成長につなげてほしいと願います。

さて、7月30日からいよいよ夏休みに入ります。例年より短い期間とはなりますが、日常の学校生活では体験できない学びのチャンスです。人間の学びを考える上で、『知的好奇心』（中公新書：波多野誼余夫・稲垣佳世子著）は大変参考になります。同書は、心理学に関する様々な実験結果をふまえ、次のように主張します。

○人間はもともと旺盛な知的好奇心を持っている。それこそが人間らしく生きる原動力である。

○知的好奇心は、少し難しいけれど興味のある、面白い題材が周りにある時に発揮される。

「少し難しいけれど興味のある…」というところは附中の授業とも共通します。夏休みは、この意味での環境を生徒の皆さん自身が創っていく期間ともいえるでしょう。どうぞ以上を少し意識され、健康にも十分留意されてよい夏休みをお過ごしください。



## 展 け 充 ち 満 つ とは

学校だよりのタイトル「展 け 充 ち 満 つ」は、本校の校歌の歌詞から引用したものです。附中生の皆さんなら、すぐにピンときたことと思います。この校歌の作詞者は、詩人の草野心平氏です。

草野氏は、「ひらけ」を「展 け」と表記しています。「展 く」は、豊んであるもの、綴じてあるものなどを広げるという意味で、多方向への広がりを感じさせます。また、「展」という字には、「障害物がなく全体が見渡せるようになる」「周りに伸びていく」という意味もあります。

グローバル化の加速する中、次代を担う皆さんに大切なことは、「ひらかれた人」であることでしょう。学校生活の中で、自らの判断と行動に責任をもつ賢さ、多様な価値観を認め合いながら他者と協働する寛容さ、様々な変化に積極的に向き合う逞しさを磨き合ひましょう。

## 部活動を終えて ～3年生の思い～

7月23日～26日の4連休中に、静岡市中学校総合体育大会がありました。また19日には、吹奏楽部のサマーコンサートが行われました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で練習時間や練習試合等が十分に確保できなかったり、当日の応援者にも制限があったりしましたが、どの部も力を尽くしました。



<p><b>【男子バスケットボール部】</b> 部長 和波創大さん</p> <p>自分たちは、コロナのせいでトーナメントで結果が出せなかったの で、来年は県1位を目指してほし いです。</p> 	<p><b>【美術部】</b> 部長 山崎琉瑚さん</p> <p>絵をデジタルで描いている部員が沢山いるので、私もデジタルにします。 みんなすごい上手で尊敬してます！ 今までありがとう。ずっと応援してるね。</p>
<p><b>【卓球部】</b> 部長 田中呼優積さん</p> <p>団体戦も個人戦も、パツとした結果は残せませんでした。ありきたりなことを言いますが、勝利だけが全てというわけではないです。また、人によって部活というものへの考え方も違います。 下級生たち、残りの時間で存分に「卓球部」を楽しんでください。</p>	<p><b>【女子バレー部】</b> 部長 大西梨愛さん</p> <p>今までありがとうございました。 最後まで皆と笑って楽しんで終わ れて、バレー部に入ってよかったな と思います。 是非これからも、楽しいバレー部 であり続けてください！</p> 
<p><b>【吹奏楽部】</b> 部長 杉山心寧さん</p> <p>先日サマーコンサートに来てくださった方、ありがとうございました。 新型コロナウイルスによる休校等、課題もありましたが、何とか創り上げることができました。 吹奏楽というのは、聴いてくれる人がいないままでは、どれだけ完成度が高くても完成しません。演奏者は観客の思いを汲み取るようにして、互いに音楽を創る、そんな文化が受け継がれていくと嬉しいです。後悔のないよう、部活を楽しんでください。</p>	<p><b>【剣道部】</b> 部長 海野恭丞さん</p> <p>コロナでいろいろな制限がある中で、最後の大会ができて、部長として、3年生としてよかったなと思った。試合の結果こそ良くなかったけど、最後の大会をやりきれたと思う。一番の悔いは、1年生の部員と団体戦をできなかったこと。そして目標の団体1勝。 この目標を、1、2年の部員にかなえてもらいたい。最後に、1、2年生達には、自分達3年生ができなかった中学最後の青春を、来年、再来年に必ず楽しんでほしい。</p>
<p><b>【女子バスケットボール部】</b> 部長 良知愛子さん</p> <p>何度もぶつかり合って、何度もくじけて、何度も泣いて、何度もチームがバラバラになって、部活を辞めたくてつらい練習から逃げ出したいと、言葉には表すことができないほど色々ありました。 頼りない部長が言ったことにも最後までついてきてくれて、私が悩んでいるときには手を差し伸べてくれて、本当に本当によいチームだなんて改めて思いました。 みんなが私の背中を最後の最後まで押し続けてくれたから、今の私があります。ついてきてくれてありがとう!!辛かったことも嬉しかったことも、2年半の全てが私の宝物です。女バスに入ってよかった。このメンバーでよかった。みんなと一緒にプレーできてよかった!!女バスのみんなが大好きだよ!!本当にありがとうございました。これからも頑張るね!</p>	<p><b>【サッカー部】</b> 部長 瀧 穂昂さん</p> <p>サッカー部は、2勝2敗でベスト8ということで大会を終えました。僕としても、「ベスト8」は功績として言うことができるので嬉しかったです。 令和元・2年度のサッカー部は、部活に参加するか、参加しないかのレベルではなく、附属中のサッカー部としてしっかりとよい形で活動できたと思います。僕はまさか、試合に負けて悔し涙を流す部員が出てくるまで部活をもっていくことができるとは思っていませんでした。その悔し涙を見て、部員への感謝の気持ちが高まりました。そして何より、部員みんなにサッカーというもの、部活というものを楽しんでもらえたのが一番嬉しいです。 2年生もよい経験になったと思います。このサッカー部で、より楽しんで、より頑張ってもらいたいと思います。</p>
<p><b>【バドミントン部】</b> 部長 杉山智彩さん</p> <p>部員が本当に多くて、賑やかで楽しい部活でした。コロナのせいで、ほとんど一緒にできなくて残念です。 2年生は、沢山協力してくれて、とても頼もしかったです。 1年生は、私たちにやる気と活気を与えてくれました。 これからのバドミントン部がどうなっていくのか、とても楽しみにしています。全員で協力し合って、よりよい部活動を追求してください。</p> 	<p><b>【陸上競技部】</b> 部長 今井晶健さん</p> <p>今年度が始まってすぐの頃は、コロナの自粛期間のせいで、なかなか全員で部活ができなかったですが、そんな中でも大体の競技は自分の体さえあればできる。陸上競技の個人種目の面は、陸上の強みだと思いました。一方で、自粛期間が終わると、土曜日の練習には1年生を含めて沢山の人が来てくれて、陸上は個人競技だけど団体としてやる面は部活動の醍醐味だと部長をやって感じる事ができました。 下級生の皆さん、「陸上」と一括りに言っても様々な競技があるのでいろいろな競技に挑戦してみてください。</p>

